

令和4年度 指定管理者年度総合評価表
(令和4年4月～令和5年3月実施分)

作成日	令和5年6月2日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市立集会場（八戸市更上閣・八戸市更上閣にぎわい広場）	
所在地	八戸市大字本徒士町5番地4	
施設概要	設置目的：市民の集会等の用に供するため 建物構造：八戸市更上閣 木造2階建（大広間、会議室、和室） 八戸市更上閣にぎわい広場、屋外トイレ（木造1階建）	
指定管理者	名称	三八五交通株式会社
	代表者	代表取締役 小笠原 修
	所在地	八戸市城下四丁目19番15号
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	①集会場の使用の許可に関する業務 ②集会場の施設、設備等の維持管理に関する業務 ③広場の施設、設備等の維持管理に関する業務	
市所管課 (問合せ先)	観光文化スポーツ部 文化創造推進課 文化創造グループ	
	電話	0178-43-9156（直通）
	E-mail	bunka@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策としての休館措置がなく、1年間を通して開館できたこともあり、利用件数、利用者数ともに前年度を上回る実績を残すことができた。また、これまで開催を控えていた自主事業も複数再開し、入場者数の増加に貢献できた。 引き続き、新型コロナウイルス感染症への基本的な対策を取りながら利用者に安全快適に活用してもらえるよう様々な可能性を模索しながら施設運営にあたっていきたいと考えている。
今後の目標	・利用者が安心快適に利用できるよう、引き続き施設の維持管理を適正に行う。 ・四季折々の庭園を強くアピールしていく。屋外であることの安心感と美しさを強調し、その強みを活かした撮影会などを通じて更上閣全体の認知度を高めていく。 ・歴史ある建造物であることを活かした自主事業を開催し、利用件数や来場者数を増やすことを目標とする。

■市（所管課）の総合評価

評価	施設の管理状況では、小規模修繕への対応は迅速に行われており、救命講習（AED操作等）や消防訓練の実施等、施設を適切に管理していく姿勢が見られた。 施設の運営状況では、予定していた自主事業1事業が中止となったものの、ほぼ計画どおり事業を実施し、施設の認知度・魅力度の向上に寄与したほか、施設内の清掃や換気など新型コロナウイルス感染対策を適切に行い、来館者が安心して利用できるように努めていた。 また、利用者からの要望や突発的なトラブルについては、市への報告や対応の協議、対応の実施が迅速に行われていた。 総合的に、指定管理者は当施設を適正に管理運営していたと評価できる。
----	--

指摘事項	・定例的な業務については、常に法令の定めに従った適正な取扱いを行うこと。 ・施設設備の老朽化部分の修繕や、市民からのニーズに応じた事業展開など、引き続き、より快適な施設サービスの提供及び管理運営に努めること。 ・令和4年3月に策定した「はちのへ文化のまちづくりプラン（八戸市文化芸術推進基本計画）」に基づき、市立文化施設の役割を踏まえた管理運営に努めること。 ・新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられ、市内の文化芸術活動が活発になることが期待されることから、利用者数の増加を図るため、引き続き、施設の適正な管理および市民からのニーズに応じて事業を工夫するなど、より快適な施設サービスの提供及び管理運営に努めること。
------	---

【評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能】

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された内容に沿った対応をしていた。 ・休館日の開館 なし
法令の遵守	○	関係法令を遵守し、適切な管理がなされていた。
適正な人員配置	○	業務基準で示した管理運営に必要な人員及び資格者を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令は遵守されていた。 ・最低賃金等の労働関係法令が遵守されていた。 ・適切な休憩時間の確保に努めていた。 ・定期的な休暇が確保されていた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合 (選定時加算)	○	市主催イベント「更上閣に『おいしい』がやってくる」に協力（イベント周知、会場設営・撤去等）した。
従事者の教育・研修	○	従業者の教育や研修が十分に行われていた。 ・本社と共同で消防訓練を実施した。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する備えが適切にできていた。 ・消防訓練を実施していた（年1回）。 ・災害時の緊急連絡体制の確認を行っていた（年1回）。
文書の管理保存	○	文書等取扱規程が整備されており、作成及び受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画書、月例報告書、事業報告書、その他報告書等が遅滞なく提出され、内容も適正であった。
使用料の徴収事務 ※徴収委託をしている場合	○	使用料等の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理者の収支は専用口座を設けて適切に行われており、経費の区分も適切であった。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理は適切に行われていた。 ・通帳、印鑑はそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。

管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～５年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可、使用条件の変更は適切に行われていた。 （使用制限、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕費等）が事業計画書に基づき、適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕費等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・清掃業務は職員が毎日実施し、機械警備業務（夜間・無人時）は外部業者に委託して報告書等により実施状況を確認していた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用状況	◎	通年で開館できたことに加え、再開できた自主事業もあり、前年度と比べて利用者数、利用件数共に前年度を上回った。 ・令和３年度 ５,４７３人 （１,１１７件） ・令和４年度 １０,０８９人 （１,３１２件） 利用日数 ３３９日（開館日数 ３６１日（利用 ９３.９％））
自主事業	◎	新型コロナウイルスの影響により、毎年多くの参加者がある武者人形展は中止となったが、ひなまつり展などが再開したため、前年度を上回る実績となった。 ○延べ参加者数 ３,２８５人 ※令和３年度実績 ９６０人 ・閣フェス（９/１８） ９３人 ・第６回 更上閣菊花展（１０/２９～１１/１３） ６００人 ・第１４回 ひなまつり展（３/１～３/２１） ２,５９２人
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	自主事業の実施に際して、PRの為にチラシ・ポスターを作成し、弊社顧客への配付、ポスター掲示の依頼をし、集客を図った。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																					
指定管理業務の収支状況	○	収支計画をおおむね達成し、黒字であった。 (単位：円) <table><tr><td></td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="4">収入①</td><td>指 定 管 理 料</td><td>13,518,000</td><td>12,862,457</td><td>12,698,671</td></tr><tr><td>修 繕 料 繰 越 金</td><td>44,000</td><td>44,000</td><td>0</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>0</td><td>46,000</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>13,562,000</td><td>12,952,457</td><td>12,698,671</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>8,830,000</td><td>8,770,750</td><td>8,293,971</td></tr><tr><td>維 持 管 理 経 費</td><td>4,270,000</td><td>3,580,911</td><td>3,374,948</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>418,000</td><td>129,575</td><td>261,800</td></tr><tr><td>租 税</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>13,518,000</td><td>12,481,236</td><td>11,930,719</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>108,700</td><td>44,000</td></tr><tr><td colspan="2">収入－支出(①－②－③)</td><td>44,000</td><td>362,521</td><td>723,952</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	指 定 管 理 料	13,518,000	12,862,457	12,698,671	修 繕 料 繰 越 金	44,000	44,000	0	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	46,000	0	計	13,562,000	12,952,457	12,698,671	支出②	人 件 費	8,830,000	8,770,750	8,293,971	維 持 管 理 経 費	4,270,000	3,580,911	3,374,948	事業費・一般事務費	418,000	129,575	261,800	租 税	0	0	0	計	13,518,000	12,481,236	11,930,719	次年度修繕料繰越金③		0	108,700	44,000	収入－支出(①－②－③)		44,000	362,521	723,952
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																	
		収入①	指 定 管 理 料	13,518,000	12,862,457	12,698,671																																																	
			修 繕 料 繰 越 金	44,000	44,000	0																																																	
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	46,000	0																																																	
			計	13,562,000	12,952,457	12,698,671																																																	
		支出②	人 件 費	8,830,000	8,770,750	8,293,971																																																	
			維 持 管 理 経 費	4,270,000	3,580,911	3,374,948																																																	
			事業費・一般事務費	418,000	129,575	261,800																																																	
			租 税	0	0	0																																																	
			計	13,518,000	12,481,236	11,930,719																																																	
		次年度修繕料繰越金③		0	108,700	44,000																																																	
		収入－支出(①－②－③)		44,000	362,521	723,952																																																	
自主事業の収支状況	○	予算額には及ばなかったが、計画的に事業を実施し、利用者数の向上に努めていた。 収入 決算額 460,880 円 (予算額 450,000 円) 支出 決算額 460,880 円 (予算額 450,000 円)																																																					

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	施設利用後に提出してもらうチェックリストへアンケート欄を設け、利用者満足度の把握に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設のパフレットを作成・配布し、周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情、要望等の受付体制を利用者に周知し、チェックリストのアンケート欄を用いて受付を行っていた。
苦情・要望等への対応	○	アンケート欄に苦情、要望等がある場合は、その都度対応する体制となっていた。（苦情1件、要望はなし）
個人情報の保護	○	個人情報保護規程を整備し、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開規程を整備し、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。 ・秘密保持義務については、随時注意するよう促していた。
環境への配慮	○	施設のゴミは分別し、可能なものはリサイクルしていた。
障がい者への配慮	○	申込みがあった時点で、施設が対応できるかどうかについての利用者への説明が行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	建築物、設備及び備品等について、点検を実施した。 ・建築物（1回） ・消防用設備保守点検（2回） ・庭園管理（樹木剪定作業、除草・薬剤散布、施肥、雪囲い）を実施。 ・庭隅の笹竹の刈り取りなどを実施。			

2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	月例報告書及び事業報告書等は遅滞なく提出され、内容も適切であった。			

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	15回	月平均 1～2日 程度	担当 (必要に 応じて GL)	・申請書及び帳簿類の確認 ・事業実施に係る打合せ ・建物や設備の破損状況の確認 ・災害時の被害状況確認
	実施結果			
	施設の管理について、適切に行われていることを確認した。地震や強風時も速やかに状況確認を行った。			

※GL：グループリーダー